

令和7年度 第3・4・5回 合同番組審議会 議事録

1 開催年月日

令和8年3月5日（木） 午前10時～午前11時ごろ

2 開催場所

砺波市太郎丸2-129 北日本新聞社砺波支社 会議室

3 委員の出席

委員総数 6名

出席委員数 5名

出席委員の氏名（◎委員長 *欠席）

◎ 山本 仁史 72歳、男、砺波市文化協会長

福原 達 62歳、男、砺波図書館長

境 佐余子 53歳、女、砺波市議会議員

* 千田 俊介 43歳、男、砺波商工会議所青年部会長

久保田 晃克 48歳、男、リアール・プランニング株式会社代表取締役

渡辺 俊一郎 40歳、男、となみ青年会議所理事長

株式会社福光組代表取締役

放送事業者側出席者名

河合 常晴 (株式会社エフエムとなみ 代表取締役社長)

古井 裕人 (株式会社エフエムとなみ 取締役放送局長)

高信 静枝 (株式会社エフエムとなみ 放送部長)

4 議事の概要

社長の挨拶に続き、放送番組についての説明の後協議へ。

その後は、番組編成などについて意見交換を行った。

5 議題

1. 放送番組に対する評価

《対象番組》

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

- ・「垣田堂のカキタイムズ」(2025年11月4日(火)放送)
毎月第1、3火曜午前10時30分から放送。
アメリカ合衆国ニュージャージー生まれ、金沢育ちのギタリスト垣田堂さんが、独特の感性で様々なジャンルの曲を紹介する30分のプログラム。
(市民パーソナリティー：垣田堂)
- ・「相続・終活・くらしデザイン」(2026年1月26日(月)放送)
毎月第4月曜日午前10時30分から放送の30分番組。
相続、終活、空き家対策、家族信託について、前田プランニングオフィス、前田敏・行政書士事務所の前田敏さんと野村久美子さんが分かりやすく解説する。前田さんは不動産や家族信託についてのセミナーも開催していて、砺波、高岡で開催されるセミナー情報も紹介する。
今回は、相続に関するトラブルについて実際の事例を交えて紹介している。
(聞き手：中島有希永)
- ・「砺波むかしさんぽ」(2026年1月27日(火)放送)
生放送番組「HAPPY SHOWER」内の毎月第4火曜日12時20分からのゲストコーナー。
砺波郷土資料館のスタッフが、郷土の風習や民具、開催中の企画展について紹介する。
今回は、砺波郷土資料館学芸員の東出紘明さんが、砺波地方の節分について紹介している。
(聞き手：井上大祐)

2. 番組編成に対するアドバイス
3. その他

6 審議内容(各委員の発言を要約して箇条書きで記載)

【福原副委員長】

- ・「垣田堂のカキタイムズ」について
ラジオらしい番組だなと感じた。
方言を交えたフランクな語りが聞きやすかった。
30分の番組内で5曲聞かせてくれた。最近は自分の好きな音楽を聞くことが多く、見知らぬ曲を聞くことが少ない。そういう音楽を楽しめるところが、昔のラジオ番組を思い出させてくれて楽しく聞けた。
- ・「相続・終活・くらしデザイン」について
相続・終活というのは、需要があるテーマだと思う。どこに行っても誰に聞いたらいいのか分

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

からないことも多いのではないか。

聞き手の中島さんが話をまとめたり、言い直したりしてくれたので分かりやすかった。

・「砺波むかしさんぼ」について

タイムリーな話題で、地域性もあり楽しく聞いた。

聞き手の井上さん、学芸員の東出さんともに落ち着いた語り口で聞きやすかった。

「家族に聞いてみてください」という呼びかけがあったが、「おじいちゃん、おばあちゃんに聞いてみよう」と思わせる内容だった。ラジオで聞いたことを次に繋げる楽しさがあり、学芸員さん流石！と思った。

【境委員】

・「垣田堂のカキタイムズ」について

テンポがよい。音楽とトークのバランス、ボリュームもよかった。

選曲も多様で、トークの内容も多世代にささる内容だなと感じた。

・「相続・終活・暮らしデザイン」について

聞き手の中島さんがいい味を出していた。難しい話を咀嚼しながら進めていて、進め方も自然体でよかった。

テーマはこれから関心のある内容だと思うが、一度聞いただけでは難しいと感じた。

・「砺波むかしさんぼ」について

初めましての二人の会話が、探り探りスタートしていたがそれも面白かった。

二人の視点が微妙にズレているところもまたよかった。

伝統、伝承に関する話はこれからも続けてほしい。

【渡辺委員】

・「垣田堂のカキタイムズ」について

長く続いているからか、垣田さんの話が上手だなと感じた。テンポもよかった。

選曲も多様で、垣田さんのパーソナリティーで成り立っているところがよかった。ラジオ番組として、人となり伝わってくることは大切だと思う。

金沢出身ということだが、広く北陸地区から人材を探し、育てることも必要だなと感じた。

・「相続・終活・暮らしデザイン」について

テーマが難しいので内容が伝わりづらいのかなと感じた。

相続については、個々に環境が違うので、聞き手のターゲットが見えにくいのではないか。

具体例がもう少しあればよかったか。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

- ・「砺波むかしさんぽ」について

内容が面白い。地域に対して興味が湧く内容にフォーカスしていたところがよかった。
市民がなかなか足を運ばないところに東出さんが行って、調べて、地域に関することを教えてくれるというのがよかった。

【久保田委員】

- ・「垣田堂のカキタイムズ」について

話題豊富な方だなと感じた。

5曲かかっていたのも聞きやすかった。

選曲のテーマを作って、曲とトークとのつながりがあってもよかったか。

- ・「相続・終活・くらしデザイン」

同業者であるが、難しいテーマであり、話が難しくなりがちな内容でもある。

知識豊富な方なので、逆に話が難しくなってしまうこともあるのではないか。

今から重要なテーマでもあるので、素人にも分かりやすい、伝わる伝え方を考えてほしい。

事例に基づいて、もっと深く掘り込んで話してもよいかもしれない。

- ・「砺波むかしさんぽ」について

BGMもちょうどよく、聞きやすかった。

節分や民具についてなど、知らないことを教えてもらおうと、「なるほどな」と思える。

テーマがしっかりしているところがよかった。

【山本委員長】

- ・「垣田堂のカキタイムズ」について

ラップにフラメンコ、多ジャンルな選曲に、垣田さんの頭の中はどうなっているのだろうと思いつながりながら聞いた。人となりが簡単じゃなさそうだなと思ったが、リスナーにそう思わせる選曲だとしたら、なかなかの策士だなと感じた。

知らない曲、聞きたくない曲を聞かされるのもラジオのいいところ。サブスク時代だからこそ、こういう番組が面白い。

- ・「相続・終活・くらしデザイン」について

相続時のトラブルは、本当にそんなに多いものなのだろうか。

トラブルの対処法もちろん大切だが、そうならないための対策を説明してもよいのではないか。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

- ・「砺波むかしさんぽ」について

節分についてということで「節分、ふーん」と聞き始めたが、「砺波に節分の風習はなかった？
そうだったのか！」となり、誰かに言いたくなる気分させられた。
誰かに投げかけたいと思わせるのがいい番組なのではないかと感じた。

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

- ・「相続・終活・くらしデザイン」

専門用語の説明を加えるなど、分かりやすく伝える工夫を指示した（令和8年3月10日）

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

令和8年3月6日付北日本新聞朝刊に記事を掲載。

FMとなみのHP上でも議事録を公開。

以上

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------